

学校施設の調査・診断結果について

1. 実施目的

学校施設の整備計画を策定するにあたり、中野区立小中学校再編計画（第 2 次）における統合新校として校舎を使用する予定の学校及び校舎の主要部分が建築後 50 年を経過した学校の経年劣化の状況を把握するため、施設調査を行った。

2. 実施方法

学校施設の調査は、耐力度調査により実施した。耐力度調査とは、建物の構造耐力、経年による耐力低下、立地条件による影響の 3 点の項目を総合的に調査し、建物の状況を評価するものであり、公立学校施設において、国の改修・改築事業の補助要件となっている。

3. 診断の評価基準

耐力度調査は、10,000 点を満点に算出され、点数が高いほど耐力度が高いことを示す。なお、評価項目に「経過年数」があり、建築年数が経過するほど、耐力度が低く算定される。

また、診断結果をわかりやすくするために、○（耐力度 4,501 点以上）、△（耐力度 4,500 点以下）の 2 ランクに分類した。

4. 調査・診断実施校

<学校再編対象校>

桃園小学校、中野神明小学校、大和小学校、多田小学校、若宮小学校、第十中学校

<校舎の主要部分が建築後 50 年を経過した学校>

桃園第二小学校、中野本郷小学校、第二中学校、第七中学校、北中野中学校

5. 調査・診断結果

調査対象の校舎及び体育館は、改修によって更に 30 年程度長寿命化することが可能である。耐力度の点数については、点数が低いほど改修の度合いが高くなるというものである。

なお、建築後 50 年を経過した学校について、今後の改修又は改築の判断は、整備費用、立地条件その他の教育環境を勘案して検討し、学校施設の整備計画に反映させていく。

（学校ごとの調査結果は裏面のとおり）

	学校名	建物種別	診断結果
学校再編対象校	桃園小学校	校舎棟 1	○
		校舎棟 2	○
		校舎・体育館棟	○
	中野神明小学校	校舎棟 1	○
		校舎棟 2	○
		校舎棟 3	○
		体育館	○
	大和小学校	校舎棟 1	△
		校舎棟 2	○
		校舎棟 3	○
		体育館	△
	多田小学校	校舎棟 1	○
		校舎棟 2	○
		体育館	○
	若宮小学校	校舎棟 1	○
		校舎棟 2	○
		体育館	△
	第十中学校	校舎棟 1	△
		校舎棟 2	△
		校舎棟 3	○
		体育館	○

建築後50年経過校	桃園第二小学校	校舎棟 1	○
		校舎棟 2	○
		校舎棟 3	○
		校舎・体育館棟	○
	中野本郷小学校	校舎棟 1	○
		校舎棟 2	○
		体育館	○
	第二中学校	校舎棟 1	○
		校舎棟 2	○
		校舎棟 3	○
		体育館	○
	第七中学校	校舎棟 1	△
		校舎棟 2	△
		校舎棟 3	○
		体育館	○
	北中野中学校	校舎棟 1	△
		校舎棟 2	○
		校舎棟 3	○
		体育館	△

※耐力度の評価基準

○；耐力度は比較的高い（4,501 点以上）

△；耐力度は比較的低い（4,500 点以下）